ダウンロードデータを次に生かす
―視認度評価分析システムの現在―

プロジェクト名：機関リポジトリ推進のための視認度評価分析システムの開発
（主担当　信州大学　／　連携機関　埼玉大学，慶應義塾大学）

信州大学附属図書館システム/コンテンツ形成担当　岩井雅史

背景

機関リポジトリの進展

競争的資金の獲得

研究評価の進展

多面的な評価指標

被引用数

機関リポジトリ

- ダウンロード数
- アクセス元
- 検索キーワード

本システムの機能

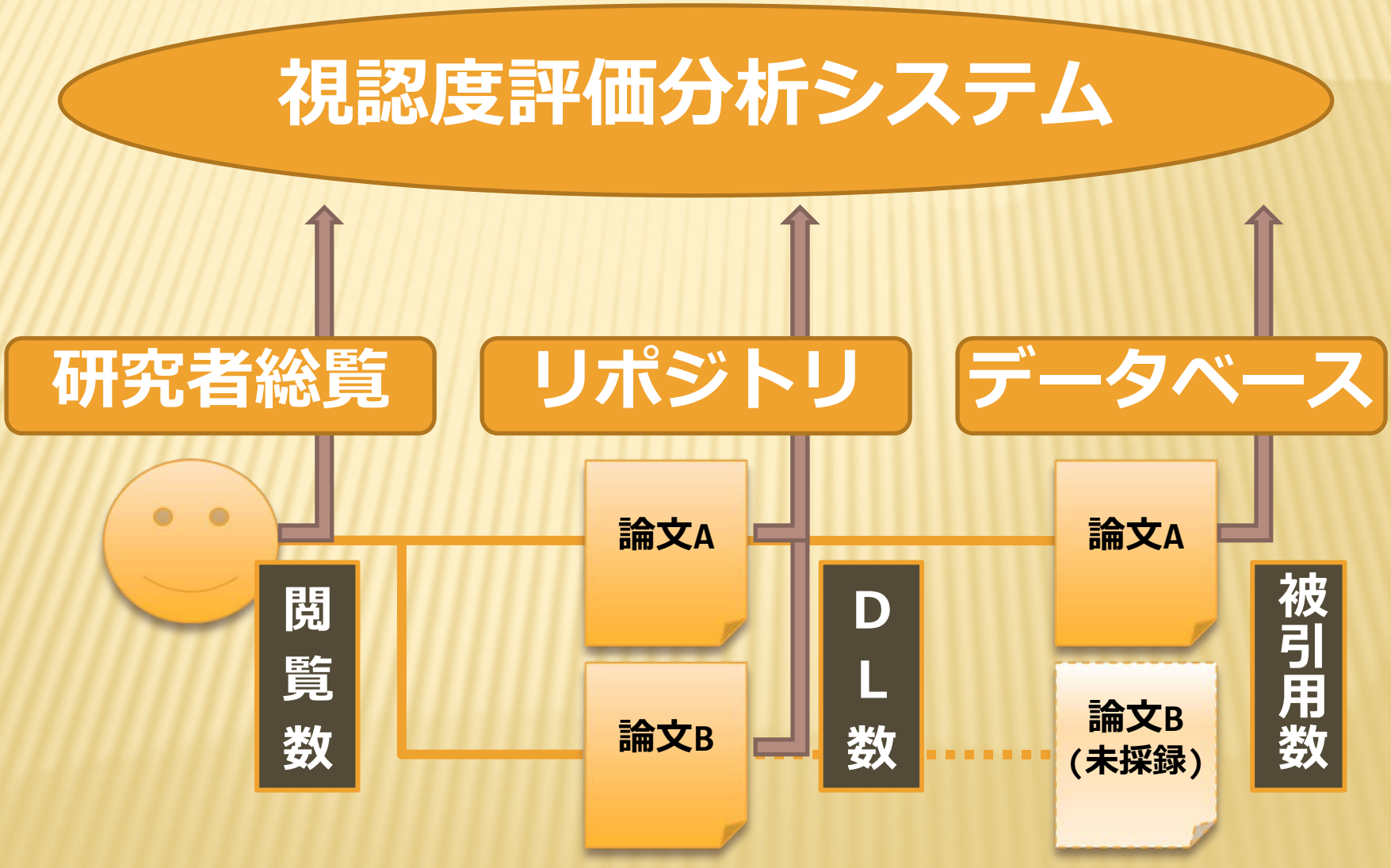
引用データベース
- 被引用数

機関リポジトリ
- ダウンロード数
- アクセス元
- 検索キーワード

研究者総覧
- アクセス数

→ **一度に閲覧**

システムの概念図


視認度評価分析システム
研究者総覧
リポジトリ
データベース
閲覧数
論文A
論文B
DL数
論文A
論文B
(未採録)
被引用数

21年度　実施内容と成果

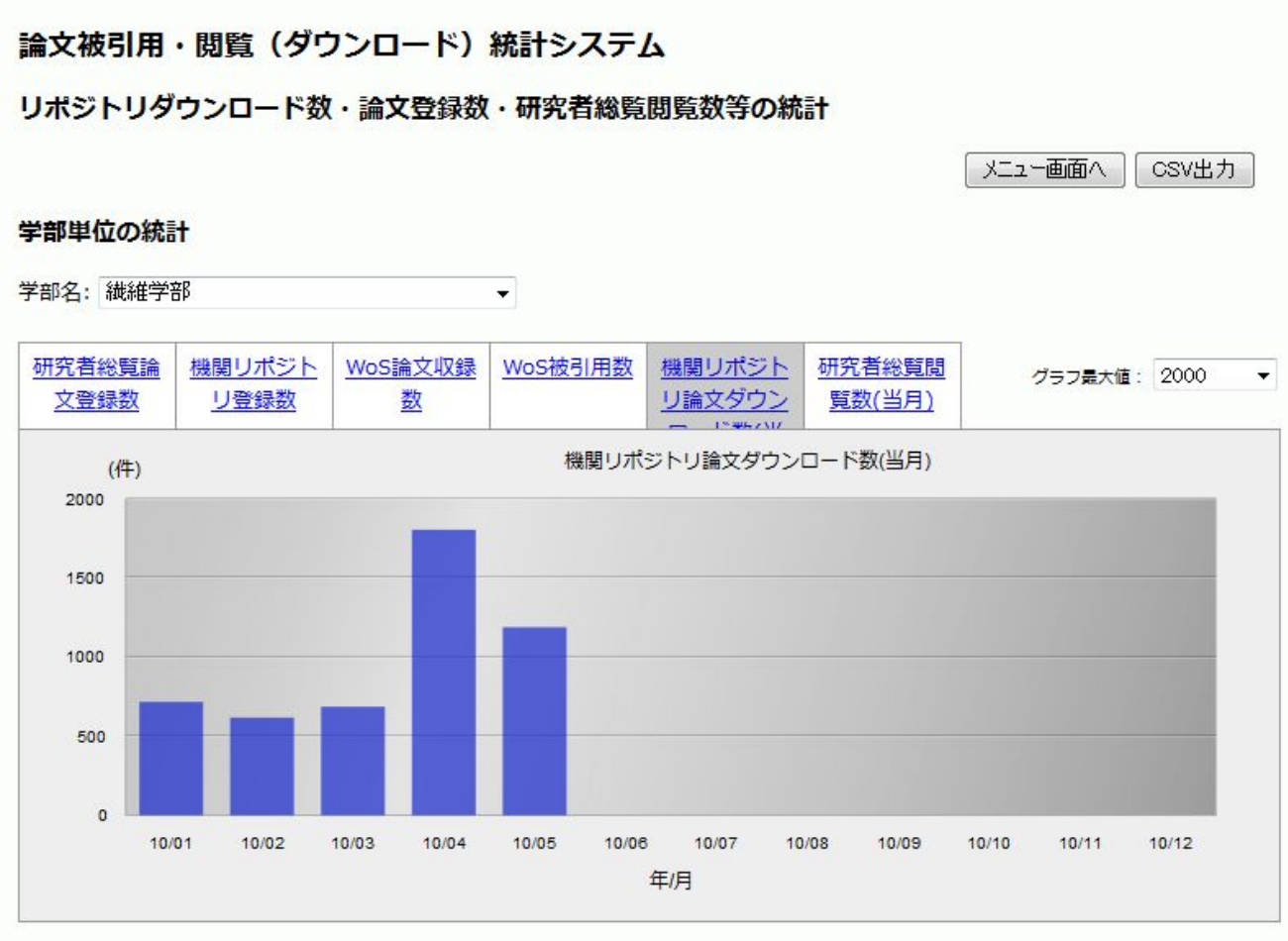
組織別統計	• 機関/学部/学科レベルの統計
汎用性向上	• Scopus対応 • XooNIps対応
無償提供モジュール	• 受付開始

ダウンロード数と被引用数を並べて見る

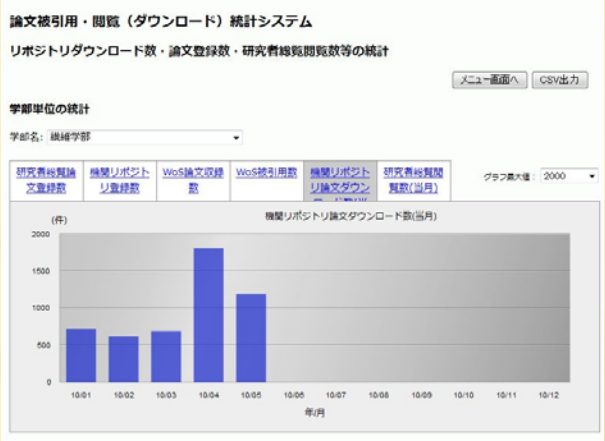
ページ： << < 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 > >>　　最終更新：2010年6月3日

タイトル / 掲載誌 (巻,頁,発表年) / 著者	機関リポジトリ ダウンロード数	Web of Science 被引用数
[illegible]	505	28
[illegible]	68	0
[illegible]	55	1
[illegible]	49	7
[illegible]	49	13
[illegible]	44	2
[illegible]	43	0

学部単位の統計(I)


論文被引用・閲覧（ダウンロード）統計システム
リポジトリダウンロード数・論文登録数・研究者総覧閲覧数等の統計
メニュー画面へ
CSV出力
学部単位の統計
学部名: 繊維学部
研究者総覧論文登録数
機関リポジトリ登録数
WoS論文収録数
WoS被引用数
機関リポジトリ論文ダウン
研究者総覧閲覧数(当月)
グラフ最大値: 2000
機関リポジトリ論文ダウンロード数(当月)
(件)
2000
1500
1000
500
0
10/01
10/02
10/03
10/04
10/05
10/06
10/07
10/08
10/09
10/10
10/11
10/12
年/月

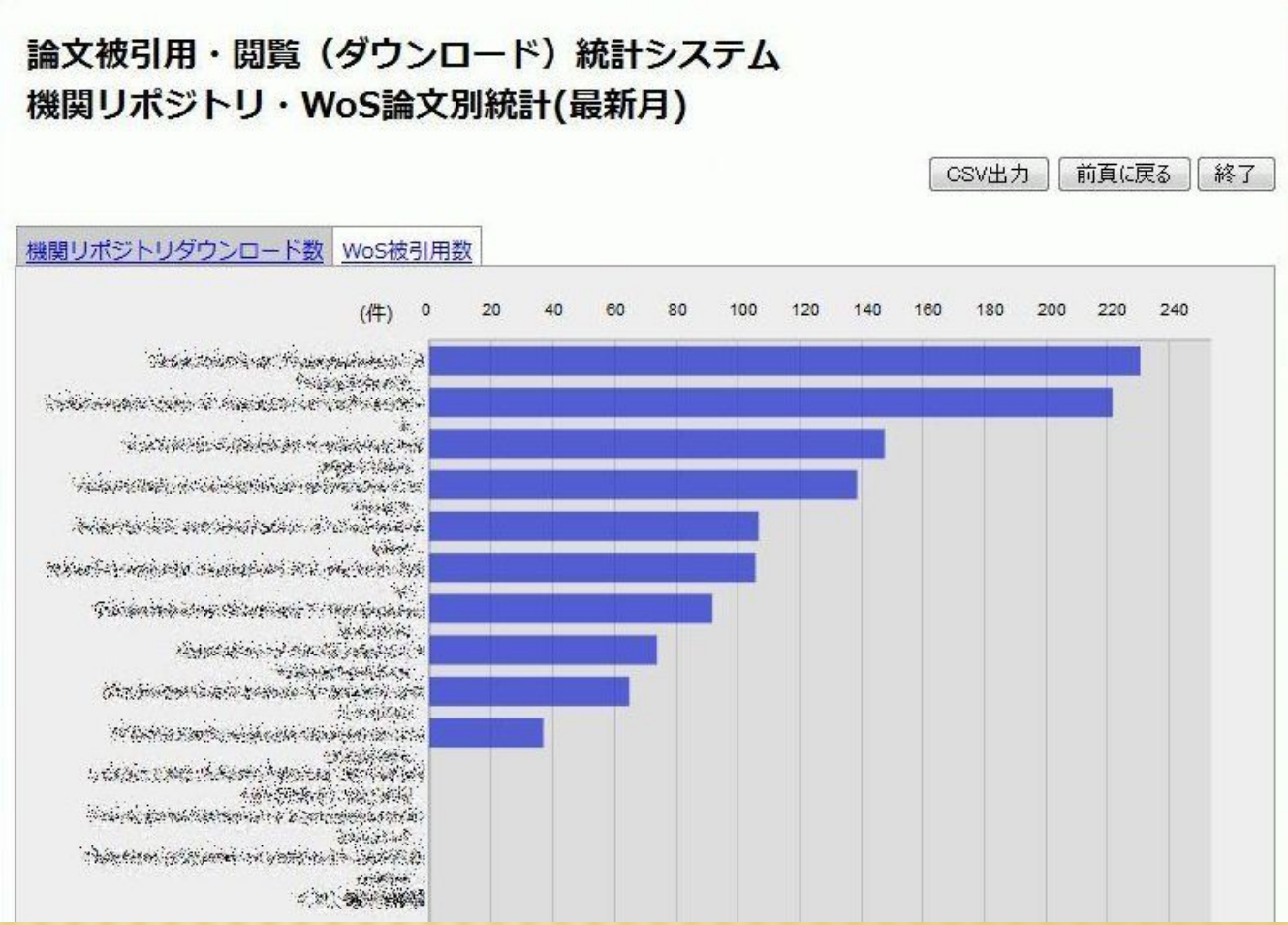
学部単位の統計(2)



項目	定義
研究者総覧論文登録数	同部局に所属する研究者の，研究者総覧に登録した論文数の合計
機関リポジトリ登録数	同部局に所属する研究者の，機関リポジトリに登録した論文数の合計
WoS論文収録数	同部局に所属する研究者の，Web of Scienceに採録された論文数の合計
WoS被引用数	同部局に所属する研究者の，Web of Scienceに採録された論文の被引用数の合計
機関リポジトリ論文ダウンロード数	同部局に所属する研究者の，機関リポジトリに登録した論文がダウンロードされた回数の合計
研究者総覧閲覧数	同部局に所属する研究者の，研究者総覧のページが閲覧された回数の合計

※同一部局の複数人による同一論文の重複カウントを排除する機能も開発

ダウンロード数の多い論文を確認



検索キーワードを把握

視認度評価システム　個人別統計（リポジトリアクセス元統計）

CSV出力　前頁に戻る　研究者選択画面へ　終了

最終更新：2009/12

ドメイン　リファラー　キーワード

順位	タイトル	アクセス数	割合(%)
1	carbon	5	14.29
2	capacitor	3	8.57
3	electrospinning	2	5.71
4	pan	2	5.71
5	biomass	2	5.71
6	yuasa	1	2.86
7	whisker	1	2.86
8	layer	1	2.86
9	electrical	1	2.86
10	electrode	1	2.86
11	based	1	2.86
12	double	1	2.86
13	hipco	1	2.86
14	nanotube	1	2.86
15	xrd	1	2.86
16	pdf	1	2.86
17	2nm	1	2.86

機関リポジトリ検索キーワード一覧

1976;32:335-49.　2nm　based　benzene

biomass　capacitor

carbon　cryst　decomposition.　double

electrical　electrode　electrospinning

filamentous　growth　hipco　ionic　layer　liquid

nanotube　ordered　pan　pdf　whisker　xrd　yuasa

課題と今後の展望

- 汎用性
  - 現在はSOARと同じ研究者DB以外への適用困難
- 統計数値の標準化
  - ROATプロジェクト

既発表文献

- 村田輝，岩井雅史．研究者を支援する評価分析ツールの構築：機関リポジトリと研究者総覧を活用した視認度評価分析システム．情報管理 52(9), 523-533, 2009-12-01. http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.52.523